

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
第1期中期目標に係る業務実績に関する評価結果

平成26年7月

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会

目 次

I	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター第1期中期目標に係る業務実績に関する評価の考え方	…… 1
II	全体評価	…… 2
III	項目別評価	…… 2
	第2 住民に対して提供するその他の業務の質の向上に関する事項	…… 2
	評価結果と判断理由	… 2～7
	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	…… 7
	評価結果と判断理由	… 7・8
	第4 財務内容の改善に関する事項	…… 8
	評価結果と判断理由	… 8・9
	第5 その他業務運営に関する重要事項	…… 9
	評価結果と判断理由	… 9～11

I 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター第1期中期目標に係る業務実績に関する評価の考え方

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会では、平成22年10月1日に新設型の地方独立行政法人として設立された地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター（以下「法人」という。）について、平成23年2月9日に策定した「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務実績に関する評価の方法」に基づき以下のとおり評価を実施した。

【評価の基本方針】

第1期中期目標に係る業務実績に関する評価は、地方独立行政法人法(以下「法」という。)第30条の規定による「中期目標に係る業務の実績に関する評価」とし、中期目標及び中期計画を踏まえ、当該中期目標の期間における業務の実績の全体について、総合的な評価を実施した。

【中期目標に係る業務の実績に関する評価の方法】

中期目標に係る業務の実績に関する評価は、法第25条第2項第2号から第5号までに係る事項について行う「項目別評価」と業務実績の全体について行う「全体評価」を併せて実施した。

(1) 項目別評価

項目別評価は、各項目ごとに数値その他による客観的な事実の確認に基づき、5・4・3・2・1の5段階による評価を実施した。

- 5 … 年度計画を大きく上回って実施している
- 4 … 年度計画をやや上回って実施している
- 3 … 年度計画を予定どおりに実施している
- 2 … 年度計画を十分には実施できていない
- 1 … 年度計画を大幅に下回っている

(2) 全体評価

全体評価は、「(1)項目別評価」の結果を踏まえ、S・A・B・C・Dの5段階による評価及び記述式による評価を実施した。

- S … 計画を大幅に達成し、又は計画よりも大幅に進捗していると認められる
- A … 計画をやや超えて達成し、又は計画よりもやや進んでいると認められる
- B … 概ね計画どおりに進んでいると認められる
- C … 計画をやや下回り、又は計画よりもやや遅れていると認められる
- D … 計画をかなり下回り、若しくは計画よりも大幅に遅れ、又は業務運営に関して重大な改善すべき事項等が認められる

(3) 評価等の手順

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務運営等に関する規則第8条の規定により、平成26年6月10日に法人からの項目別評価に準じた自己評価入りの当該業務実績報告書及び関係資料の提出を受け、法人の理事、職員等に対する聞き取りなどを行い評価を実施した。

II 全体評価

(1) 評価結果と判断理由

全体評価結果：**B「概ね中期目標を達成していると認められる」**

法人は、平成22年10月1日に設立され、平成22年度から平成25年度までの第1期中期目標期間は、病院開院に向けた準備期間にあたることから、病院建設に係る設計、建設事業を行うとともに、医師・看護師等の人材の確保を図り、病院運営の仕組みを構築し、併せてこれらを推進するための資金の確保・調達を行う重要な期間にあたる。

法人はこの第1期中期目標期間に平成26年度の部分開院・病院運営を行うための事業を実施しており、項目別評価については、中期目標の13項目中、6項目が「3：中期目標を予定どおりに実施している」、7項目が「4：中期目標をやや上回って実施している」と判定したため、全体評価については「B：概ね中期目標を達成していると認められる」とした。

III 項目別評価

「第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果：**4**

5項目中、1項目が「3：中期目標を予定どおりに実施している」、4項目が「4：中期目標をやや上回って実施している」ことから評価結果を「4」とした。

〈項目別評価の集計結果〉

項目	法人自己評価	評価委員会評価
①メディカルセンターの医療機能	3	4
②メディカルセンターの施設整備	3	4
③メディカルセンターの設備整備	3	4
④メディカルセンターの人材確保	3	4
⑤医師会や地域の医療機関等との連携	3	3

評価にあたっての意見、指摘事項等

①メディカルセンターの医療機能

- ・開院時に三次救急を行う救命救急センターの指定はもとより、地域災害拠点病院及びDMAT指定医療機関の指定まで受けたことは評価できる。

②メディカルセンターの施設整備

- ・ハイブリッド手術室をはじめ最先端の医療施設やドクターヘリ・ヘリポート、また、職員向けの保育所などを整備できたことは評価できる。
- ③メディカルセンターの設備整備
 - ・三次救急に対応した放射線機器をはじめ最先端の医療機器等を整備できたことは評価できる。
- ④メディカルセンターの人材確保
 - ・千葉県内、山武長生夷隅圏内の医師・看護師不足の状況の中、医師 29 名、看護師 130 名を確保できたことは評価できる。
- ⑤医師会や地域の医療機関等との連携
 - ・計画どおり連携を進めており、また、次年度につながる実績について評価できる。

〈項目別評価にあたって考慮した事項〉

①メディカルセンターの医療機能

- ・救命救急センターを併設し、救急医療（一次・二次・三次）・急性期医療を核とした医療の提供が行える地域の中核病院として平成 26 年 4 月 1 日に開院した。診療科 16 科（内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科）、病床数 146 床
- ・千葉大学医学部・同附属病院との密接な連携を構築し、診療部門ごとのヒアリングを実施してメディカルセンターの設計と建設を行うとともに、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターのシステムを介して医師（特任教員）を確保する体制を構築した。
- ・4 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）4 事業（救急医療・災害医療・周産期医療・小児医療）にも対応した医療機能を有する設備整備をした。
- ・脳卒中、急性心筋梗塞に対応できる救急医療体制を整え救命救急センターの指定を受けた。（指定日 平成 26 年 4 月 1 日）
- ・地域災害拠点病院及びDMA T 指定医療機関の指定を受けた。（指定日 平成 26 年 4 月 1 日）

②メディカルセンターの施設整備

- (1)千葉県東金市丘山台三丁目 6 番 1、6 番 2、7 番 2、7 番 3（7 番 1 の一部）を取得した。（取得日 平成 23 年 3 月 29 日）
- (2)病院本棟及び医師看護師宿舎、保育所、ドクターヘリ・ヘリポート等の建設工事を実施した。（竣工引渡 平成 26 年 1 月 31 日）
- (3)障害者団体と意見交換会を実施し、ユニバーサルデザインを導入した設備設計とした。

相手方 東金市障害者福祉団体連絡協議会

意見交換会 平成 23 年 8 月 11 日、平成 24 年 9 月 26 日、平成 25 年 12 月 25 日 ほか

(4)病院本棟及び防災エネルギー棟

- ・将来の医療環境や技術の進展に伴う各種変化を考慮して作成した実施設計に基づき整備
- ・病院本棟 免震構造採用
- ・防災倉庫を併設
- ・病床数 314 床（一般病床 294 床、救命救急センター I C U 10 床・H C U 10 床）
- ・手術室 6 室（うち 1 室はハイブリッド手術室）ほかに 1 階に救急処置手術室、2 階外来に小手術室を整備
- ・入院病棟 3 階、1 看護単位 42 床

4～6階、2看護単位 84床

- ・講堂 200人収容、ほか会議室を設置
- ・研修室 入院病棟1フロアあたり2室設置（1看護単位1室程度）
- ・救命救急センターと中央診療部門（手術部門、放射線部門等）を1階に近接して配置し、救急診療に際しエレベーターによる上下方向の患者移動が不要となる動線を確保
- ・前面道路からの動線は外来者動線、救急動線、サービス動線を分離して整備
- ・外来部門にブロック受付を導入

(5) 医師看護師宿舎

- ・ワンルーム方式45戸をすべて同様の設備として、敷地内北西側に整備
（2階建 18戸、3階建 27戸）

(6) 保育所

- ・収容児数20人対応保育所を敷地内北西側に整備
- ・体調不良児室を設置
- ・設計・建設にあたっては他施設の保育士より意見を取り入れて整備

(7) ドクターヘリ・ヘリポート

- ・敷地内南西側に地上型を整備し、病院本棟との専用動線を確保
- ・地域住民に影響の少ない進入路設定と航空法に適合した整備を行いドクターヘリ運航者が飛行場外離着陸場の許可を取得
- ・人員及び機体の安全を確保した外構整備

(8) 土地利用その他

- ・造成にあたっては敷地のレベル差を有効に活用し、地階レベルを職員・サービスゾーン、1階レベルを患者・利用者ゾーンとして明快に分離して整備
- ・駐車場746台
- ・上下水道、都市ガス、電力、情報回線等既存インフラを活用
- ・ロータリー、タクシープールの設計整備にあたっては、バス事業者及びタクシー事業者と意見交換し、乗り入れに対応した整備
平成23年5月18日 東金タクシー組合意見交換会、平成23年5月23日 バス事業者意見交換会、平成25年9月18日 バス事業者意見交換会、平成25年10月21日 東金タクシー組合意見交換会ほか
- ・バス停2基、バス待機所、福祉車両優先車寄せ設置

③メディカルセンターの設備整備

(1) 病院本棟の設備整備は中期計画に基づき実施した。

- ・諸室の機能、役割に対応して空気清浄度を確保した。
手術部門 手術室の役割に応じてクラス100～クラス10万の清浄度を確保、ICU 感染症に対応した陰陽圧切替可能な個室設置
結核モデル病床 陰圧かつ独立した換気設備をもつ個室を病棟に整備

- ・電力引き込みについては停電を想定し2回線受電（常用電源 滝台変電所、予備電源 大網変電所）
- ・非常用発電機の設置及び重油の備蓄
- ・無停電電源設備（UPS）の設置
- ・都市ガス方式の空調機器1台を重油切替型として設置
- ・臨床療育センターや病棟研修室に什器や情報環境を整備
- ・災害その他緊急時用の臨時ベッド運用を想定し、講堂、会議室、センタープラザ等に酸素と吸引アウトレットを整備
- ・地域災害拠点病院として必要なライフライン資源を備蓄
- ・イニシャルコスト、ランニングコストを検討し空調ポンプ、外気調和機等について省エネルギー設備を導入

(2)放射線関連医療機器は開設時に以下の機器を導入

- ・X線一般撮影装置2台、X線TV装置1台、バイプレーンX線血管造影装置1台、ハイブリッド手術室対応血管造影装置1台、IVR-C T装置（アンギオCT）1台、X線CT装置320列1台、MRI（1.5T）1台、ポータブルX線撮影装置2台、ハイブリッド手術室対応血管造影装置1台、DR画像処理システム1式、3D画像処理システム1式

(3)医師看護師宿舎はワンルーム方式とし、45戸すべて同様の設備

(4)保育所に体調不良児室を設置

④メディカルセンターの人材確保

(1)人材の確保（平成26年4月1日現在）

- ・医師30人（常勤医）（内訳 センター長1人、部長8人、副部長5人、医長13人、医員3人）
- ・看護師130人
- ・コメディカル職員（看護師除く）及び事務職員54人（内訳 薬剤師9人、臨床検査技師11人、放射線技師10人、管理栄養士2人、臨床工学技士3人、理学療法士3人、作業療法士1人、医療ソーシャルワーカー1人、事務職14人）
- ・医師に関しては千葉大学医学部・同附属病院と「国立大学法人千葉大学と地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターとの千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターに関する協定」を平成23年3月30日に締結し、臨床教育センターのシステムを介して医師等（特任教員）の確保体制を構築した。
- ・看護師に関しては看護部長を中心に募集体制を整え、看護師養成施設等への訪問、就職説明会等を実施し人材確保の基盤を整えた。

看護師養成施設訪問数(単位：件)

	H23	H24	H25
訪問施設数	83	63	60

- ・平成23年度より看護師養成機関学生の奨学金制度を設立して以下のとおり給付した。

奨学金受給者数(単位：人)

	H23	H24	H25
H24.4採用予定	1		
H25.4採用予定	3	4	

H26.4 採用予定	4	7	12
H27.4 採用予定		6	10
H28.4 採用予定		8	8
合計	8	25	30
計画	15	15	30

- ・(参考) 東金市看護師養成修学資金貸付条例による奨学金制度が制定され下記のとおり給付があった。(上記とは別の東金市・九十九里町による城西国際大学看護学部学生を対象とした奨学金制度)

奨学金受給者数(単位：人)

	H24	H25
H28.4 採用予定	15	15
H29.4 採用予定		15
合計	15	30
計画	15	30

- (2) 開院に向けて看護師研修を千葉大学医学部附属病院、千葉県立病院で実施した。

看護師研修医療機関(単位：人)

	H24	H25
千葉大学医学部附属病院	3	10
千葉県がんセンター		3
千葉県救急医療センター		2
千葉県こども病院		1
千葉県循環器病センター		4
千葉県立東金病院		3

⑤医師会や地域の医療機関との連携

- ・平成 23 年度より山武郡市医師会、千葉県医師会、日本医師会また地域医療の協議組織である山武地域医療協議会に加入した。
- ・メディカルセンター医師が県立東金病院にて診療参加し、医療機能の役割分担を進めるとともに引継ぎを行った。
(診療参加 34 回 医師 3 名、引継協議 平成 26 年 3 月 7 日)
- ・山武長生夷隅医師会医師や消防・行政機関等に対し、メディカルセンターの役割や機能に対する講演や意見交換を行った。
(平成 25 年 11 月 12 日 山武郡市医師会主催、平成 25 年 7 月 31 日 茂原市長生郡医師会主催、平成 25 年 11 月 6 日 山武郡市広域行政組合主催)
- ・地域医療連携室準備担当者である医療ソーシャルワーカーが地域医療機関を訪問し、医療状況の把握と医療連携の取り組みを進めた。
(訪問施設数 42 施設)

- ・メディカルセンターと地域の医療機関等との医療連携を円滑に進めるため、「山武長生夷隅保健医療圏における地域医療連携会議」に出席し、意見交換を行った。
- ・「二次救急医療輪番制検討協議会」に参加し、平成 26 年度からの二次救急輪番の参加を決定した。

「第 3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果： **3**

3 項目中、全て「3：中期目標を予定どおりに実施している」ことから評価結果を「3」とした。

〈項目別評価の集計結果〉

項 目	法 人 自己評価	評価委員会 評 価
①効率的で財政上も健全な運営手法の確立	3	3
②魅力ある人事・給与制度の確立	3	3
③会計制度の整備と運用	3	3

評価にあたっての意見、指摘事項等

なし

〈項目別評価にあたって考慮した事項〉

①効率的で財政上も健全な運営手法の確立

- ・平成 22 年度に策定した I T 整備計画に基づき、プロポーザルにより、総合的な I T 部門システムを確立した。
- ・医療機器等の整備にあわせ部門システムとの連携を図った。
○電子カルテ等情報システム導入業務 富士通(株)千葉支社 ○ネットワークシステム構築業務 ネットワンシステムズ(株)
○財務会計システム導入 ぎょうせい(株)
- ・電子ジャーナルについては、千葉大学附属図書館と連携し、千葉大学医学部と同様の環境を整えた。
- ・政令 8 業務を含む各種外部委託については順次選定業者をプロポーザル等により選定し開院時に支障のないよう計画的に委託契約を締結し開院に備えた。
○外注検査（検体検査）業務 (株)エスアールエル ○外注検査（微生物学的検査・病理学的検査）業務 (株)サンリツ
○物流管理業務等運営業務 アルフレッサメディカルサービス(株) ○患者給食及び職員食堂業務 (株) ティエフケー
○リネン管理等運営業務 ワタキューセイモア(株) ○清掃・警備・施設維持管理業務 (株)ダイケングループ
○一般廃棄物収集運搬処分業務 (株)中村総業 ○産業廃棄物収集運搬処分業務 三友プラントサービス(株) ○医事等業務 (株)ソラスト
○保育所運営業務 (株)サクセスアカデミー ○売店等運営事業 (株)光洋

②魅力ある人事・給与制度の確立

- ・平成 22 年度に策定した人事労務制度基本設計書に基づき給与制度等を整えた。
- ・新卒者やマネジメント層の給与を手厚くし、雇用の確保を図りつつ業績に貢献した者が報われる報酬制度とした。
- ・在職中の貢献度を反映しやすくするため、退職金の算定方法にポイント制度を取り入れた。
- ・勤務評価制度については開院後段階的に導入することとした。
- ・人員配置については、資格、経験や年齢を踏まえたものとした。

③会計制度の整備と運用

- ・地方独立行政法人としての予算執行の弾力性を生かし複数年契約や科目間流用に対応した財務会計制度を整えた。

「第 4 財務内容の改善に関する事項」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果：4

2 項目中、1 項目が「3：中期目標を予定どおりに実施している」、1 項目が「4：中期目標をやや上回って実施している」ことから評価結果を「4」とした。

〈項目別評価の集計結果〉

項 目	法 人 自己評価	評価委員会 評 価
①健全な経営基盤の確立	3	3
②支出の適正化	3	4

評価にあたっての意見、指摘事項等

②支出の適正化

- ・建築費の高騰や建築業界の人材不足などの社会情勢を考慮すると、建設費抑制のための仕様変更を実施し、機能・効率性を考慮して建設工事を進めたことは評価できる。

〈項目別評価にあたって考慮した事項〉

①健全な経営基盤の確立

(1)権限と責任の所在を明確にした組織の確立

病院開設後の組織規程や職員採用計画を策定した。

(2)経営情報システムの構築

平成 22 年度に策定した IT 整備計画に基づき、プロポーザルにより、総合的な IT システムを確立した。また、医療機器等の整備にあわせ部門システムとの連携を図った。

○電子カルテ等情報システム導入業務 富士通(株)千葉支社 ○ネットワークシステム構築業務 ネットワンシステムズ(株)

○財務会計システム導入 ぎょうせい(株) (再掲)

②支出の適正化

(1) 建築関連

- ・機能や効率性を考慮して設計建築を行うとともに工事費抑制のための設計見直しを随時実施して建設工事を行った。
274 千円/㎡ (参考) 公立病院ガイドライン 水準整備費 250 千円/㎡~300 千円/㎡

(2) 人件費関連

- ・平成 22 年度に策定した人事労務制度基本設計書に基づき給与制度等を整えた。
- ・新卒者やマネジメント層の給与を手厚くし、雇用の確保を図りつつ業績に貢献した者が報われる報酬制度とした。
- ・在職中の貢献度を反映しやすくするため、退職金の算定方法にポイント制度を取り入れた。
- ・勤務評価制度については開院後段階的に導入することとした。 (再掲)

(3) 経営シミュレーションの実施

- ・平成 24 年度に中期計画予算比で 9 億円の増加となったためシミュレーションの見直しを実施した。
- ・平成 29 年度までを計画期間とする第 2 期中期計画の策定にあたり、35 年度まで(10 年間)の予算、収支計画、資金計画を作成した。

「第 5 その他業務運営に関する重要事項」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果：4

3 項目中、1 項目が「3：中期目標を予定どおりに実施している」、2 項目が「4：中期目標をやや上回って実施している」ことから評価結果を「4」とした。

〈項目別評価の集計結果〉

項 目	法 人 自己評価	評価委員会 評 価
①実施スケジュールの確立	3	4
②財政負担の原則	3	4
③地域に対する広報等	3	3

評価にあたっての意見、指摘事項等

①実施スケジュールの確立

- ・千葉県内、山武長生夷隅圏内の医師・看護師不足の状況の中、医師 29 名、看護師 130 名を確保できたことは評価できる。
- ・人員確保、教育等、綿密なスケジュールの下に実施し、ほぼ計画どおり実施・開院できたことは評価できる。

②財政負担の原則

- ・施設及び設備整備に関して、医療機能等の拡充による支出総額の増はあったが建築材料費の高騰や建築業界の人材不足などの社会情勢を考慮すると評価できる。

③地域に対する広報等

- ・ 広報、ホームページは住民にとって非常に重要な情報源であるため、わかりやすい情報提供をしていただきたい。
- ・ ホームページのアクセス件数から、地域住民等の関心と期待が伺われる。今後もホームページの充実に期待する。

〈項目別評価にあたって考慮した事項〉

①実施スケジュールの確立

- ・ スケジュールどおり進捗した。

項目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
管理運営体制	人事組織制度、財務制度の確立	事業執行体制の拡充強化	事業執行体制の拡充強化	事業執行体制の拡充強化
施設建築関係等	用地取得、実施設計	実施設計、建築工事	建築工事	建築工事、主要医療機器設置、物品調達
医師確保	臨床教育センターに関する基本合意	主要スタッフの確保準備	主要スタッフの確保	主要スタッフの確保 実地研修研修派遣
看護師等のメディカルの確保	看護師募集の手法、スケジュール確立 薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討	幹部スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動 実地研修研修派遣

②財政負担の原則

- ・ 東金市及び九十九里町からの負担金、貸付金及び千葉県からの補助金を財源として、施設設備を行った。
施設及び設備の内容 病院施設、医療機器等の整備 支出総額 13,786 百万円

③地域に対する広報等

- ・ 建設工事進捗状況、看護師の公募、診療情報等について、広報紙「医療センターNEWS」、ホームページ、市町広報に掲載して広報を行った。
- ・ 建設工事説明会を開催し工事協力依頼をするとともにメディカルセンターの役割に対する理解を得た。
平成 24 年 6 月 13 日 千葉東テクノグリーンパーク連絡協議会
平成 24 年 6 月 13 日 丘山地区
平成 24 年 6 月 30 日 季美の森地区（東金・大網白里市）
- ・ 中期目標・中期計画、年度計画、理事会議事録、財務諸表等についてホームページに掲載して情報提供を行った。
(評価委員会評価結果等については東金市ホームページに掲載)

医療センターNEWS発行・HPアクセス数(単位：回)

	H22	H23	H24	H25
医療センターNEWS発行	3	1	3	1
ホームページアクセス数	-	38,000	58,300	102,368

- ・開院前に内覧会を実施し、医療機能や施設設備に対する理解を得た。

平成26年3月29日 来場者1,660人

(内訳 招待者160人、東金市民740人、九十九里町民110人、大網白里市民400人、ほか250人)